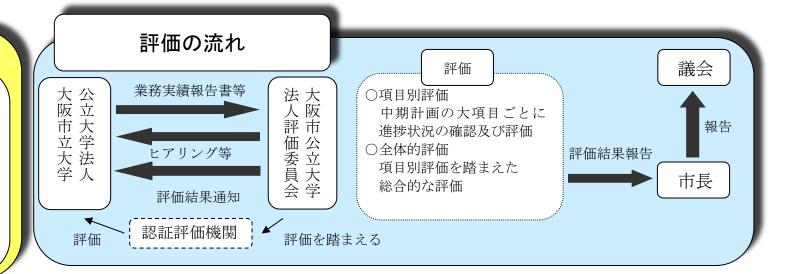
公立大学法人大阪市立大学第二期中期目標期間業務実績に関する評価結果(概要)

評価にあたって

- ○地方独立行政法人法第78条の2の規定により、第二期中期目標期間の業務実績評価を実施
- ○地方独立行政法人法第 79 条の規定により、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえる
- ○法人の自律性、大学の教育・研究の特性に配慮
- ○中期目標の達成に向けた中期計画の進行状況を確認し、わかりやすく社会に提示
- ○法人運営の改善・向上に資するべく、総合的・客観的に評価
- ○第二期中期計画策定時に法人が定めた、重点三戦略について、重点的に評価



項目別評価:各項目とも、目標の達成状況は「良好である」

- 1 教育研究等の質の向上を達成するための措置 A 【教育】
- ○オープンキャンパス等の高校生向け広報活動の実施、副専攻制度の 導入、全学的な授業アンケートの実施及び結果の公表
- ※入試広報の成果について継続的に効果検証を行われたい。
- ※副専攻導入における効果を評価する仕組みを構築されたい。
- ※大学院の研究力の維持・向上のために、国や設立団体等と連携を図りつつ入学者数の確保に向けた改善策を検討されたい。

【研究】

- ○重点三研究の拠点整備、外部資金を活かした女性研究者・若手研究 者の研究活動の支援
- ※国際共同研究のさらなる推進に努められたい。
- ※若手研究者の研究支援をより強化されたい。
- ※修士・博士・ポストドクターのキャリアパス強化の総合的な支援体制について検討されたい。

【社会貢献】

- ○地域連携センターの設置、大学COC・COC+への参画、URA センターの設置及び体制強化
- ※地域企業による大学の研究シーズの活用に向けた働きかけに努められたい
- ※地域産業との連携による地域活性化にいっそう尽力されたい。

【国際化】

- ○大学間学術交流協定の拡充。
- ※国際交流促進のために予算措置を含めた仕組みを検討されたい。

【附属病院】

- ○地域がん診療連携拠点病院としての体制強化、先端予防医療部附属 クリニックMedCity21の開設
- ※MedCity21については先進的取組みとして評価できるが、事業継続に支障が出ないよう早期の収支均衡の達成に努められたい。

- 〇:主な取組事項 ※:主な意見・指摘事項
- 2 業務運営の改善及び効率化に関する措置 A
- ○理事長・研究科長の選考方法見直し、文理融合・異分野融合 研究を推進する体制の整備、特定職員制度・特定教員制度の 導入・活用
- ※計画を順調に実施していると認められる。
- 3 財務内容の改善及び効率化に関する措置 A
- ○研究系外部資金の獲得に向けた体制強化、「大阪市立大学夢基金」の創設、継続的なエネルギー削減による経費節減
- ※計画を順調に実施していると認められる。
- 4 自己点検・評価及び当該情報の公開等に関する措置 A
- ○教員活動点検評価の実施及び評価結果の活用、情報発信ツールの多言語化、SNSを活用した情報発信。
- ※計画を順調に実施していると認められる。
- 5 その他業務運営に関する措置 A
- ○適正な業務の確保に関する規程の制定、地域の防災拠点として て多角的な訓練の実施、「新・公立大学」大阪モデルの策定
- ※防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、学生の防災 意識の醸成に一層努められたい。
- ※新大学実現に向け、両大学の構成員がより具体的な構想を早期に共有できるよう取組を加速されたい。

全体的評価:

中期目標の達成状況は、全体として良好である

〇:主な取組事項 ※:主な意見・指摘事項

法人が掲げる重点三戦略①都市大阪のシンクタンク、「都市科学」分野の教育・研究・社会貢献、②専門性の高い社会人の育成、③国際力の強化について、評価委員会としてもそれぞれの取組に注目し、評価を行った。

- ○都市大阪のシンクタンクを目指した地域連携センターの開設、人工 光合成研究センター・健康科学イノベーションセンター・都市防災 教育研究センターの設置に伴う産官学連携活動の推進。
- ○都市経営研究科の開設に向けた準備。
- ○海外同窓会組織の活性化を図るため、上海・バンコク・ジャカルタ での活動拠点の設置。
- ○「適正な業務の確保に関する規程」を制定及び内部統制システムの 体制強化、研究者データベースシステムの導入、新法人設立準備室 の設置。
- ※学部教育におけるニーズの多様化への対応策の一つとして副専攻の 取組を一層充実されたい。
- ※全学及び全学部において、3つのポリシーの策定の際には国際化について具体的に記載し、継続して実施されるよう努められたい。
- ※PDCAサイクルが効果的に機能するよう改善のプロセスが分かるように業務実績報告書の記載内容の工夫に努められたい。また、取組実績についてはアウトプットだけでなくアウトカムについても意識した実績報告となるよう努められたい。